



本当に使える

ユニバーサルデザインとは

～ UDのまちづくりを目指して ～

佐賀UD推進会議 アドバイザー

山崎 泰広

2008/7/17

バリア vs ユニバーサルデザイン



- 歩道への段差とスロープ
- 建設時のコストの差は？



誰を対象に設計？



入れない

- バリアフリールームと記載されていた客室
- 手すりが付いていればバリアフリー？
- 浴室の間口は50cm・・・一般的な車いすの全幅は約60～65cm

だれでもトイレ(?)



日本の電車 vs 米国の地下鉄



- なぜホームと電車の段差をなくせないのか？



- 米国の地下鉄とホームに段差はない。

ワンステップ・バス



- スロープを使うのは、車椅子の乗客にだけ。
- 足の悪い障害者や高齢者はステップを上げられる。
- ベビーカーはたたんで持って、赤ん坊を抱いて上がる。
- 妊婦さんや怪我人もスロープではなくステップを上がる。
- 小さい子供も抱えてもらうか無理をしてステップを上がる。

ある新幹線駅のトイレ(2006年完成)



- 階段を上れる人以外は、全員「だれでもトイレ」に集中！

ニーズを
理解しているか？

身障者用
駐車スペースの
必要性



権利と義務



米国のパーキングパーミット制度



佐賀県パーキングパーミット制度



米国のパーキングパーミット制度を手本にして、
身体障害者のためだけの駐車許可証制度ではなく、
怪我人や妊婦さんなどにも対象を広げたユニバーサルデザイン。

小さな客室でもUD化できる



ニーズの理解



UD客室の膝の当たる洗面台



考慮された洗面台

バリアとなる点字ブロック



- 歩道を横切る方向の点字ブロックが車いすや歩行困難な人にとって最も大きなバリアになっている。

使えない点字ブロック



まずは障害者や高齢者が自分でできるための道具と環境を提供し、その上でニーズや要望に応えることが、これからの障害者や高齢者のための施策だと考えます。



階段の両脇にエスカレーター、その両脇にエレベーターのある空港